

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-3-1
地域資源を活用した観光地づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

観光振興課長 木次 淳

電話番号

0852-22-5625

事務事業の名称	県立観光施設管理運営事業	
目的	(1) 対象	施設利用者
	(2) 意図	快適に施設を利用していただき、満足してもらう。
事業概要	宍道湖の眺望施設、休憩施設として、安全に利用いただけるよう施設内の設備や植栽等の維持、管理を適切に行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	施設利用者数	目標値		192,000.0	195,500.0	199,000.0	202,500.0	人
	式・定義	総水道使用量/1人当たり水道使用推定量	取組目標値						
			実績値	188,336.0	206,431.0	235,094.0			
			達成率	-	107.6	120.3	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	3,703	3,895
うち一般財源(千円)	3,615	3,745

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・休憩利用等で多くの方にトイレ、自動販売機等が利用されている。
- ・施設内の植栽の剪定、除草作業、安全点検等により、園内全体の利用が可能。
(剪定作業1回/年、芝生管理作業4回/年、草刈り・除草作業2回/年、安全点検12回/年)

6. 成果があったこと（改善されたこと）

休憩利用等で施設利用者が増加している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・施設の老朽化が進み、トイレや街灯、浄化槽等、随所が故障の発生しやすい状況になっている。
- ・施設の有効利用が図られていない。

②困っている状況が発生している「原因」

施設の有効利用策がなく、利用継続可能な範囲で、最小限の管理しか行っていない。

③原因を解消するための「課題」

外部で有効利用を希望する企業等を発掘するなど、有効活用の活路を見いだす必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

利用者の利便性と安全性は最低限確保しつつ、売却も含め将来的な有効利用が図られる方向性を検討する。